

平成27年度
地域の“まちづくりびと”養成講座
入門編

またまた大作戦

まちのスキの育て方

第4回

『まちの魅力発見企画をつくろう②』

日程：平成27年12月20日（日）

時間：13時30分～17時00分

場所：愛知学院大学

名城公園キャンパス

12月20日の午後、北区の愛知学院大学名城公園キャンパスにて「平成27年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編」の第4回講座が開催されました。

この講座は講師の名畑恵さんと名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、北区役所、当センターで実行委員会をつくり、講座全体の企画・運営を行っています。

クリスマス間近ということで、スタッフ全員がサンタ帽子などを被り、場の雰囲気を楽しみました。



■アイスブレイク～頭のストレッチをしよう～

北区の魅力を発信する企画の発表準備に取りかかる前に、頭のストレッチになるアイスブレイクをまちづくりびとの進行により行いました。まず、北区の輪郭だけ印刷された台紙に受講生が発想をふくらませて塗り絵をします。その後、塗り絵を持って会場内の受講生と自己紹介と塗り絵の感想を伝え、他グループの人との交流を深める時間を設けました。

みなさん個性的な塗り絵を描き、その絵を見ながら交流が無かった受講生同士で話し合い、場の雰囲気が和んだようでした。



塗り絵のアイスブレイクの様子

■ワークショップ「まちの魅力発信企画をつくろう②」

第3回講座で考えた北区の魅力を発信する企画をより具体的にし、発表のための模造紙の作成や発表方法の作戦を立てました。グループ毎に事前に発表のための備品を持ち寄り、工夫して発表の準備に取りかかっていたいました。また、講師からは準備・発表のアドバイスとして、「企画のタイトルをつける」「切ったり、貼ったり、手を動かしながら考える」「物語的に発表する」と話しました。



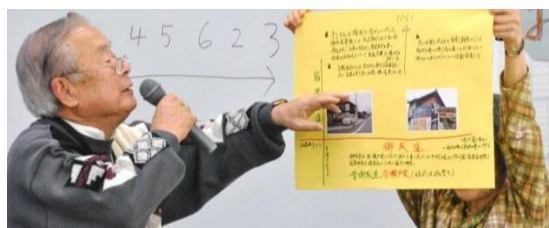
発表準備の様子

■発表と話し合い

グループ毎に北区の魅力を発信する企画の発表を行いました。限りある時間の中で考えられたオリジナリティ溢れる発表で、会場には驚きや笑い声が響きました。

「縁側大好きグループ」

瀬戸線沿線を探検したチームは「おなりみち物語」と題して、紙芝居風に提案を発表しました。御成道沿いでは、地域のお寺の縁側を開放し、老若男女が集い意見交換を出来る場に、道沿いの白龍酒造跡は建物を活かしたにぎわいの創出、尼ヶ坂・坊ヶ坂では薄暗さを利用してお化け屋敷の開催。また、まち探検での成果を取入れた御成道をみんなで楽しく歩けるガイドブックを作成し、多くの人に御成道を歩いてほしい。



縁側大好きチーム発表の様子

「きたにゃん」

北区大杉町界隈を探検したチームは「人のロータリーをまちの縁側に」と題して、縁側を活用した提案を「きたにゃんの人のロータリー活用術」を使って発表しました。

- ①都会だけど都会じゃニヤイ…日本の原風景、昭和の香りが漂い、落ち着く街並み
- ②おもてなしの心を感じるニヤ〜…空き缶アートや軒先の花でおもてなし
- ③北区のイイモノを感じるニヤ〜…名物まんじゅうがありコスモスが咲くまち
- ④集いの場は楽しいニヤ〜…すごろくになるベンチをつくり楽しい場所に
- ⑤つながる、ひろがる、好きになるニヤ〜…みんなで花を植え、種を収穫し花育を広げる



きたにゃんの発表の様子

「まちつかい倒し隊」

地下鉄沿線エリアを探検したチームは「みずのわマルシェ」と題し、“みんなで湧水を使い倒せ”をコンセプトに親水空間の魅力や取組みについて、即興演劇を交えて発表しました。演劇では「黒川インター寿司」「湧水寿司」など地域の魅力と併せたお寿司を紹介し、マルシェを開催するまでのステップを提案しました。

- ①散策マップづくり…ウォーキングを通して魅力的な親水空間を周知
 - ②水質調査…透き通り豊富な湧水を調査し、飲むことができればコーヒーに！
 - ③みずのわマルシェ…水にまつわる店舗、染色ワークショップ、春夏秋冬の取組み
- 最後には「みずのわでみんなの“輪”を広げよう」というキャッチコピーを発表しました。



まち使い倒し隊の発表の様子

「5班（ごはん）じゃないよ、ライスだよ」

昔の水脈の名残があるエリアを探検したチームは「軒先博覧会」と題して、人通りや地域で集まれそうな場所が少ないため、家の外に出てまちの4項目の各所を回りたくなるよう、クイズラリーやスタンプラリー形式で行う取組みを発表しました。

- ①歩く…名古屋友禅の手染めのお店や緑いっぱいの環境共生建物
- ②集う…狭い路地を利用し自慢の品の展示、懐かしい遊びで老若男女が集まる
- ③見る…アートな世界の体験として銭湯の煙突でプロジェクションマッピング
- ④食べる・飲む…市場や酒蔵で気軽に入りやすく立ち飲み交流

ラリーで優秀な成績を修めた子どもは「みずみち親善大使」に就任し、就任式は区役所で行います。



5班じゃないよ、ライスだよの発表の様子

「もやもやハッピー」

柳原通商店街界隈を探検したチームは「千手観音なおもてなし」と題して、シャッターの閉まった商店の多い商店街が、千手観音のようにかゆいところに手が届くような商店街になったらいいなという提案を、即興演劇で発表しました。

障がい者の人が困っていたら助けてくれたり、まちの人から挨拶の声が上がりはじめました。そんなとき、元々地域にあった遊べる、つながれる場所を再生しようと餅つき大会やサンバ祭りの復活、シャッターペイントやロードペイントによって、まちが愛・言葉かけ・ふれあい・気づき合いで満ちていく光景を表現しました。



もやもやハッピーの発表の様子

全てのグループの発表が終わった後には第2回講座と同様に、受講生がよかったと思うグループへ投票をし、なぜそのグループに投票したかを共有しました。

講師より、まちづくりは少数派の意見に真理があると話され、票数が少なかった「5班じゃないよ、ライスだよ」へ投票した方は「軒先で博覧会をする発想がステキ。北区は軒先を飾るお宅が多いとまちを歩いて実感し、そういった人が注目されるいい案だと思った。」とコメントしました。票数が多かった「もやもやハッピー」へ投票した方は「障がいのある方への気づかいや挨拶など、日常的なことができるまちになるところが良い。」とコメントしました。



受講生からのコメントの様子

■まとめ

講師より、発表をとおしての重要なキーワードをまとめました。

★北区の魅力発信キーワード★

来たくなるのは遊べる人とつながる場

～人のロータリーまちの縁側のある町へ～

食べる・飲む・見る・集う 生活総合魅力

苦しい経験を逆手にとって魅力に変えよう

まちの人自身の魅力を育くむことから始めよう

るるんアート目線で、今あるまちも輝きだす

こう引よりも弱さが大事

～最も弱い立場に立って考えよう～

とう然現場の声に耳を傾ける

はっ揮しよう、歴史資源の豊かさを

苦しい現状をかゆいところに手が届く

千手観音の発想で乗り越えよう

らんらんと資源は何か見定めて使い倒そう

また、そのキーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用いて「北区まるごと博覧」とし、各グループの提案が北区全体の博覧会となると話されました。

北区の魅力発信キーワード
1. ① 来たくなるのは遊べる人とつながる場
人のロータリーまちの縁側のある町へ
2. ② 食べる・飲む・見る・集う
生活総合魅力
3. ③ 苦しい経験を
逆手にとって 魅力に変えよう
4. ④ まちの人自身の魅力を
育くむことから始めよう
5. ⑤ るるんアート目線で
今あるまちも輝きだす

6. ⑥ こう引よりも弱さが大事
最も弱い立場に立って考えよう
7. ⑦ とう然現場の
声に 耳を傾ける
8. ⑧ はっ揮しよう 歴史資源の
豊かさを
9. ⑨ 苦しい現状を
かゆい所に手が届く
千手観音の発想で
乗り越えよう
10. ⑩ らんらんと資源は何か
見定めて使い倒そう

第4回講座のキーワード

■全体ふりかえり

講師より講座全体のふりかえりについて、これまでの講座の様子を映しながら行われました。

まちづくりの話合いは、感情的な議論を抑え楽しく本題を深めるための場づくりの方法、目標を明確にしておくこと、みんなで話し合うときには目的に合った事前準備、自由なつぶやきを発することが出来ることが大切です。意見の違いを相乗効果に変え、違う立場の人達との会話を楽しむこと、時間の管理も大事です。発表では、各々の意見が全体に伝わったか、話合いの意見を共有するという大切なことです。目に見えるようにすることで楽しさが育まれます。

また、みなさんからの意見にあった黒子が大事、子どもの目線、感じる・聴く力、共感力、千手観音のようにみんなが取り組める雰囲気を作ることも大切です。

この講座で学んだまちづくりのコツを自分の地域に帰り、実践してもらいたい。そして「褒める」ことも実践してほしいです。褒めることで人の原動力が生まれ、地域の現状を変えることが出来ます。

講座全体をとおしての感想を、受講生よりもらいました。

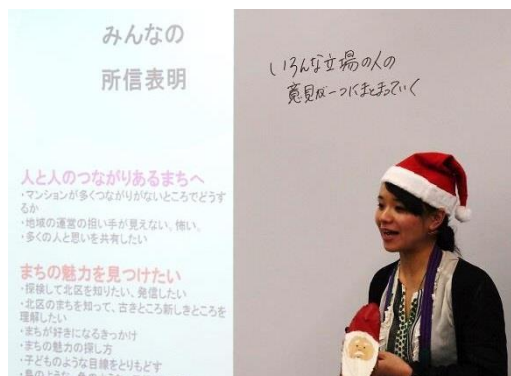


いろんな世代や仕事、立場の方の意見がまとまり、ひとつのテーマの結論が出るのが新鮮でした。普段なかなか会えない方と問題解決が出来たということが貴重な体験でした。

普段見過ごしていた景観を温かいまなざしでみていくということは、簡単なようで難しい。自分の地域で問題を感じ受講したが、講座で行ったことが出来れば本当に住みよいまちになると思います。



問題を考えたりする時に、立場やルールの中で問題と向き合うことはあるが、自由な考えで問題を考えていくということ、いろんな人達と話の仕方を学びました。



講師によるふりかえり

■修了証授与、講評

・修了証の授与

名古屋都市センター 参事の青木よりメッセージと受講生に修了証が授与されました。

北区の魅力を発見しようということで、みなさん魅力は見つかったでしょうか。この講座には「ワークショップでの話し合い体験」「合意形成の手法体験」「ファシリテーターの体験」、この3つを学んでいただきたいという趣旨があります。今回は入門編ですが、もっと学びたいという方は「まちづくりびと」に登録していただき、様々な講座の案内をお送りしますので、ご参加ください。



修了証授与の様子

・講評

北区の松本区長よりメッセージがありました。

講座おつかれさまでした。発表を見せていただき、北区の魅力について、まだまだ知られていないものもあるのだと感じております。

北区役所で区政を進めるにあたり大きな目標は、愛着が持てるまちをつくっていくということです。みなさまに自分の住むまちへ愛着や親しみをもってもらう、これが原点ではと思います。北区民に「まちに愛着を持っていますか」というアンケートを取ったところ、77%が持っているという回答でしたが、名古屋市内の全区の平均では少し低い数字です。そして、北区民以外の人に北区で紹介できる魅力的なものはありますかとアンケートを取ったところ16%の人が「ある」と答えました。これをどう考えるかということですが、建物や文化、歴史など何かに愛着を持っているため、自信を持って紹介してもらえればと思っています。数字の乖離については、どう埋めていくかが行政の仕事ですので、みなさんの発表を聴いてヒントがいっぱいありましたので、これを持ちかえり、今後に役立てたいと思います。



北区 松本区長

まちづくりというのは突き詰めていくと「人づくり」だと思います。人がいてはじめてまちづくりが進められる、逆を言うと、人が育たなければまちづくりは進まないと痛切に感じています。みなさんには、今回の講座で学ばれたことを地元で活かしていただきたいと思います。

まちづくりというのは突き詰めていくと「人づくり」だと思います。

人がいてはじめてまちづくりが進められる、逆を言うと、人が育たなければまちづくりは進まないと痛切に感じています。みなさんには、今回の講座で学ばれたことを地元で活かしていただきたいと思います。

・記念撮影



縁側大好きチーム



きたにゃん



まち使い倒し隊



5班じゃないよ、ライスだよ



もやもやハッピー



■閉会

講師を務めた名畑さんへお礼と、受講生の「まちづくりびと」としての活躍を期待し、「地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編」を拍手で終了しました。

講座終了後は、別会場にて懇親会が行われ、受講生同士やスタッフとの親交を深める場となりました。